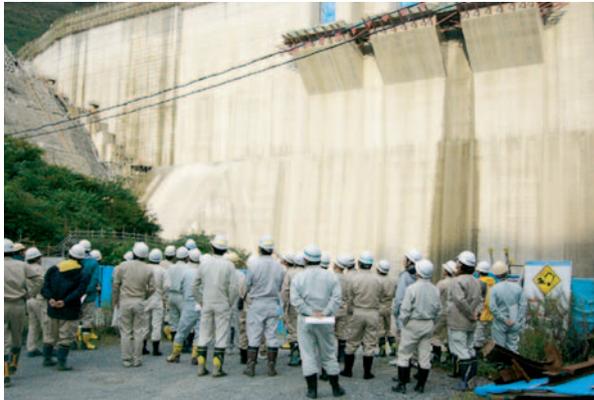


～相双方部～木戸ダム建設現場研修会が開催される

平成17年10月27日(木)に双葉郡楢葉町の木戸ダム建設現場において、現場研修会を開催しました。この研修会は、来年6月の本体コンクリート打設完了を目指して施工中の木戸ダム建設現場を見学することにより、普段あまり携わることが出来ない大規模なダム事業についての知識を深め、技術力の向上を目的としています。

当日は肌寒い天候の中、相双方管内をはじめ県内各地から県および市町村の職員約100名が参加しました。初めに木戸ダム建設事業を紹介するビデオを見た後、2班に分かれて木戸ダム本体や原石山、骨材製造設備などを見学しました。ダム堤体上では、ケーブルクレーンを使用したコンクリート打設や、内部振動機による締固め状況を間近で見ることができ、普段目にしていないコンクリートの打設とは違った迫力を感じたようでした。また限られた時間を惜しむように、移動中のバスの中でも活発な質疑がなされました。

今回参加された方々からは、『完成が近づいたダムの大きさに驚いた』、『若手職員が一生懸命説明している姿から職員の熱意と事務所の活気を感じた』との言葉を頂きました。



現場見学会のようす



打設状況

平成17年度の主な方部研修会等

< 10月以降 >

10月17日 県北方部 現場研修会

- ・ 県北流域下水道建設事務所右岸幹線管渠築造工事及び二次覆工
- ・ 国道115号額取橋に隣接する駐車場周りの森林景觀整備

10月24日 相双方部 現地調査及び検討会

- ・ 所内OJTにおけるロードキル現地調査

10月27日 会津若松方部 現場見学会

- ・ 国道252号 滝谷川橋

11月下旬 会津若松方部 現場見学会

- ・ 緊急地方道整備工事 (仮称) 琵琶首トンネル

平成17年度建設技術講習会開催の御案内について

このことについて、以下のとおり開催いたしますので、皆さんぜひ奮って御参加ください。平成17年度建設技術講習会は、建設技術や安心・安全、危機管理及び社会・環境問題等の建設に関連する諸分野の知識により技術力の向上を図り、実践活動に役立てることを目的としております。

1 日 時

平成17年11月28日(月) 13:30～(受付13:00～)

2 会 場

コラッセふくしま 4階 多目的ホール
 (財)福島県産業振興センター

3 講演テーマ

「これからの建設技術者のあり方」(仮題)

13:35～15:05 (90分)

講師: 高橋 裕 (たかはし ゆたか) 氏

東京大学名誉教授・国際連合大学上席学術顧問

「土木技術者の失敗学」(仮題)

15:20～16:50 (90分)

講師: 水野 哲 (みずの さとし) 氏

技術士・特定非営利活動法人つくばビジネス

センター理事事務局長

4 主 催

福島県建設技術協会

5 共 催

福島県

(財)福島県建設技術センター

(財)福島県下水道公社

6 対 象 者

福島県建設技術協会の会員及び一般参加者 (入場無料)

7 問 合 先

福島県建設技術協会 研修部事務局

【福島県土木部建築領域営繕グループ内】

TEL 024 - 521 - 7525

平成17年度多自然型川づくり地方ブロック担当者会議が開催される

平成17年10月11日(火)に青森市で「平成17年度多自然型川づくり地方ブロック担当者会議」が開催されました。この会議は毎年、国や東北各県の多自然型川づくりの事例発表を行っており、今年度は南会津建設事務所河川砂防グループが「山間地域の川づくり」と題して、布沢川(只見町布沢地区)で実施した内容について発表しました。

当事業の特長として、箇所の選定から施設整備まで一貫して地域と協働し多自然型川づくりに取り組んだことから、施設整備の完了後も布沢区の方々が積極的に利用・管理をする仕組み作りができました。

また、寄石工や置石工の水制効果により、川に様々な流速域ができ、トビケラやヤゴ、イワナなどの魚影も多数みられるようになり、より水生生物が棲息しやすい環境となりました。さらに多種多様な生物が戻り、昔の川の生態系に戻ることが今後期待されます。

今後も、こういった取り組みを積極的にいき、より地域に愛される川づくりに努めていきます。

こまちダム 本体コンクリート打設完了

平成17年9月9日に、工事関係者約100名の出席のもと、現地でコンクリート打設完了式が行われ、高橋善清県中建設事務所長や宍戸良三小野町長らによって、堤体工事で最後となるコンクリートが流し込まれました。

こまちダムは、福島県が田村郡小野町の黒森川に建設を進めている生活貯水池ダムで、洪水調節、水道用水の確保を行うとともに、既得取水の安定化及び河川環境の保全のための流量確保を目的とした多目的であり、平成16年6月の初打設から1年3ヶ月間で約30,000m³のコンクリートを打設しました。県内の多目的ダムでは初めて生コンによる打設を行ったダムでもあります。

<計画緒元>

形式：重力式コンクリートダム
堤高：37.0m
堤頂長：150.0m
貯水量：772,000m³

今後は、平成18年6月の試験湛水開始に向け管理設備等の整備をはかり、平成19年3月の完成を目指します。

また、こまちダムの建設に伴って新しく出来る「湖」と「橋」の名称が、一般公募の中からダム建設促進協議会の選考会により、それぞれ「こまち湖」、「黒森橋」に決定されました。



下流右岸から



こまちダム打設完了式

～会津若松方部～西若松駅舎と東西自由通路が完成記念式典

会津若松市のJR只見線西若松駅の路線をまたいで東西市街地を結ぶ「西若松自由通路」と橋上駅の新駅舎の完成記念式典が9月19日に執り行なわれました。式典には菅家一郎市長、竹村敏行JR会津若松駅長をはじめ、各関係者約40人が出席しました。駅舎は線路の上空に設置された橋上駅となります。今後は、バスプール、タクシーなどを設けた東西それぞれの駅前広場整備に着手し、2006年度の完成を目指します。



記念式典の様子

会員として長い間ご活躍されましたが、この度記載の方がご逝去されましたので、謹んでお悔やみ申し上げます。

県北方部 準会員 長沢 功介 76歳 平成17年11月 相双方部 準会員 渡辺 和之 70歳 平成17年11月

◆福建のホームページ◆会員へ活動のお知らせ、建設ふくしまニュース、夏祭りなど地域行事への参加状況等も含めてホームページに掲載されておりますので覗いてみてください。http://www.fukken-a.jp(ユーザー名、パスワード:fukken)